

全員協議会 会議録（要点筆記）

令和元年12月11日（水）

午後 1時30分 開会

午後 1時50分 閉会

場所： 全員協議会室

[報告案件]

1 成岩小学校内（仮称）成岩放課後児童クラブ施設の概要等について

笠井厚伸健康子ども部長：資料に基づき説明

加藤美幸議員：現在成岩小学校区なのですが、既存の学童クラブもありますけどそれとの移行とかそういうことはどうなのでしょう。もう一点ニーズ調査を踏まえて将来的にこの92人というキャパでいいのでしょうか。

笠井厚伸健康子ども部長：現在わたっこハウスということで有楽町に施設がありますが、こちらにつきましては受け入れを廃止いたします。当面は新施設と栄町に第2わたっこハウスがございますので、その二か所での運営とさせていただきます。定員でありますけども現在のところ当面はこの定員でいけるといふふうに考えております。

加藤美幸議員：当面はと申されましたけれども、例えば今後増えた場合によその小学校でもあったようにどんどん小学校のグラウンド内に増やしていくようになるのかその辺のところはどうなのでしょう。

笠井厚伸健康子ども部長：基本的な考えといたしましては、各小学校区にこうした施設を設けていきたいと考えております。特に施設改修、小学校の建て替え等に合わせて教室を一部利用させていただきながら、こういった施設の建設をしていきたいと思っておりますので、既存の施設からそちらに移っていただくなどしながら全体の定員の増加に対応するとともに適正な運営に努めていきたいというふうに考えております。

水野尚美議員：公募でわたぼうしに決まったのですが、他にも応募はございましたでしょうか。

笠井厚伸健康子ども部長：公募の際、応募されたのはわたぼうしさんともう一か所NPO菜の花さんが手を挙げられました。

2 亀崎及び乙川中学校区の地域子育て支援拠点事業について

笠井厚伸健康子ども部長：資料に基づき説明

水野尚美議員：先ほどと同じになりますけども、それぞれの施設で応募が他にございましたでしょうか。

笠井厚伸健康子ども部長：他には応募はございませんでした。

3 半田市立半田病院新病院建設構想（改訂版）について

竹内甲司病院事務局長：資料に基づき説明

久世孝宏議員：エネルギーサービス事業、ES事業とはもう少しわかりやすく、今

と何がどういふふう違う部分なのかということをお教えください。

竹内甲司病院事務局長：E S 事業と言いますのは、電気だとかガスだとかそういったエネルギーのものについて、エネルギー棟のようなものを造りまして、それが民間の事業者がエネルギーに関する建物だとか機器だとかいうものを整備いたしましてそれを病院側が購入するというかたちになりますので、ですのでエネルギー版のP F I 事業というところと少しわかりやすいかと思いますが。

中川健一議員：面積のところなのですが、近年建設された同規模病院を参考にということですけども、これはどこの病院を参考にしたのか教えてください。

竹内甲司病院事務局長：近年、愛知県内ですと小牧市民病院なども最近建てられましたし、その他ですと例えば伊勢の赤十字病院だとか、最近建てられた病院を主に参考にさせていただいております。

中川健一議員：常滑市が不妊治療を行う産婦人科不妊治療センターというのを、基本構想を策定して2021年から開始をするということになっているそうですが、これとのすりあわせとか、整合性が今回の計画でどのようにになっているのか教えてください。

竹内甲司病院事務局長：常滑市との経営統合会議の中において、診療に関する機能分担を話し合いました。そのなかで半田病院は周産期センターをやりたい、常滑市については不妊治療をやりたいというようなことで機能分担をいたしました。その結果として常滑市としては不妊治療センターをお造りになるということでありまして、我々としては従来から持っておいた機能をそのまま持ち続け、さらに充実させていきたいというふうにお考えしております。

中川健一議員：するとこの常滑市さんの方でやられるこの不妊治療の件は新病院構想の中に含まれるものなのか、別個でやるものなのか、それはどうなっているのでしょうか。

竹内甲司病院事務局長：別個でやるものだというふうにお考えしております。この新病院建設構想とはまた別のものだというふうにお考えしております。

中川健一議員：別個ということはこの病院の、常滑市さんと半田市との経営統合会議とは別でやられると、そういうことなのでしょうか。

榊原純夫市長：常滑市さんはあくまで不妊治療をするだけのもので、出産とかそういったことは半田病院が周産期センターということでおやるということでありまして、内容が違うと思います。

中川健一議員：そういうことを聞いているのではなくて、経営統合をするという枠組みの中に入るといふことで役割分担をしているのか、それかそれとは全く関係ない話なのかどちらかということをお聞いているのです。

榊原純夫市長：私どもが承知しているのはあくまで常滑市民病院の中に不妊治療をするための施設を造るということでありまして、私どもが考えているのは不妊治療とは関係なくて出産については私ども半田病院で周産期センターを造ってやるということですので、常滑では出産とかそういったことはやらないと、そういうことです。

中川健一議員：もう少しわかりやすい言い方をしますと、この常滑市さんの方で企画を進められている不妊治療センターは、半田病院と常滑病院との経営統合の枠

組みの中に入るのか、入らないのか。

榊原純夫市長：中川議員の質問の意味がちょっとわからないのですが、要は常滑市民病院として今の病院の機能の中に不妊治療をするための施設を造りたいということを考えられて、それが常滑でやろうということになったということですので、経営統合したとするならばそのときからは上手にやらなければいけないと思いますけど、例えば経営統合するまでの間に不妊治療センターで赤字が出たとしてもそれは常滑できちんと片を付けてから、一緒になりましょうということで考えています。

午後 1時50分 閉会